令和5年度 校務分掌部・学部の取組目標と具体的な取組

	グランドデザインと関連する重点目標	取組目標	具体的な取組
教務部	2②ICTを活用した授業、校務処理の推進	・ICTを活用した校務処理の効率化、可視化を図る。	・校務支援システムにおける行事予定表の有効的活用の検証と実践を行う。 ・職務内容に応じて、校務支援システムの管理者権限の分散化を図る。
学習指導部	1①新学習指導要領に対応した指導計画の作成、実施	・新学習指導要領に対応した年間や単元の指導計画を活用し、授業改善を目指す。 ・主体的、対話的で深い学びを意識した授業の取り組みを目指す。	・年間指導計画、単元指導計画の様式の作成をする。また、それを活用して授業を実施する。 ・個別の教育支援計画の作成と管理を行う。 (3観点での評価)
児童生徒指導部	3①地域社会に開かれた教育課程を目指すとともに、情報発信の工夫・徹底	・各種訓練やマニュアル、いじめ防止等に関する情報発信の充実を図る。	・ホームページを活用した、各種訓練やいじめ防止等に関する情報の発信 ・各種マニュアルの見直し、周知 ・いじめ防止に関するアンケートの実施、結果の周知
地域支援部	3①地域社会に開かれた教育課程を目指すとともに、情報発信の工夫・徹底	・関係機関との情報交換や地域のニーズを踏まえた情報発信の工夫と充実を図る。	・特別支援教育連絡会の主催開催 ・ボランティアスクールの開催 ・地域の要請に応えた研修内容や支援を検討・実施
健康指導部	2①安全教育の推進と保護者・地域との連携による感染症、防災対策の徹底	・熱中症・感染症対策を適切に行い、安心・安全な学びの環境を整える。 ・医療的ケア児の活動範囲を広げ、学校生活を充実させる。	・状況に応じた対策の具体的な提示と、教員・保護者へ確実な周知。 ・県の指針に沿って、関係する職員と連携し、医療的ケアを安全に実施する。
進路指導部	3①地域社会に開かれた教育課程を目指すとともに、情報発信の工夫・徹底	・卒業後の自立に向け、本校の進路指導や保護者が知りたい情報を、分かりやすく発信する。	・保護者が知りたい情報内容についての調査、把握。 ・分かりやすさや見やすさを工夫した、ホームページ、進路だよりの作成。 ・保護者向けの施設説明会、研修会などの実施方法の見直し。
渉外部	3②関係機関と連携し、児童生徒の豊かな生活を支える取組の推進	・保護者や同窓会、地域のPTA関係団体との連携を深める。	・HP等を活用したPTA活動についての情報提供 ・保護者が参加しやすい行事日時の設定、参加方法の工夫 ・特教振後事務局として保護者・他校PTAとの協力体制作り ・同窓会主体での活動の支援
特別活動部	3②関係機関と連携し、児童生徒の豊かな生活を支える取組の推進	・児童生徒が活動や役割を理解し主体的に活動することで、学習の成果を十分に発揮して成就感を味わえるようにする。	・児童生徒の学習状況、新型コロナウイルス感染症流行状況緩和を踏まえ、活動のもち方や関係機関との連携を工夫したり、活動の見直し、精選を図ったりする。
情報部	2②ICTを活用した授業、校務処理の推進	GIGAタブレットおよび校務支援システムの機能を効果的に利活用したり、データベースを構築したりすることなどを通してデジタル化の推進を図る。	・Formsの効果的な利活用について ・Teamsの利活用について ・ZoomやTeams、Youtubeを使ったオンラインの授業の充実 ・校務支援システムの機能の理解と活用 ・教材データベースの構築 ・学校ホームページの充実

	関連する 重点目標	取組目標	具体的な取組
小学部	1 ②主体的、対話的で深い学びを意識した授業改善	自立活動の指導において、個々の実態把握、ねらいを明確にした具体的な指導の実践や評価を行い、授業改善に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ・自立活動支援シートの効果的な作成と活用。 ・自立活動指導内容一覧表のさらなる充実 ・自立活動指導内容一覧表の活用に向けた検討
中学部	1 ②主体的、対話的で深い学びを意識した授業改善	<ul style="list-style-type: none"> ・作業学習における、個に応じた評価の在り方と指導の反省を一体化し、授業改善を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・次時への意欲を高めるような評価表の作成 ・個に応じた生徒の自己評価方法とその活用の仕方を検討、実践 ・評価に基づいた授業改善の実施
高等部	1 ②主体的、対話的で深い学びを意識した授業改善	<ul style="list-style-type: none"> ・新学習指導要領に沿って作成した指導計画に基づいて授業を実践する中で、生徒の主体的な活動を引き出し、自己肯定感を高められるような指導方法や評価の仕方とその活用について検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年間指導計画に基づいた授業実践 ・発問の工夫 ・生徒の活動を促すようなワークシートや指示の出し方の工夫 ・作業日誌の工夫 ・評価(自己・他者)の推移の見える化
働き方改革委員会	4 ②働き方改革の継続、ワークライフバランスの推進と教職員の保健管理の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・業務改善と働きやすい職場環境作りに努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・勤務時間の適正化 ・意識改革 ・業務改善（ICTの活用など） ・学校運営体制の充実 ・教職員間のコミュニケーションの円滑化と互いに支え合う雰囲気醸成